

有威ナリトテ復職ヲ懇願セルモ助後ハ解雇ノ不与ナ
 ラルルト申下及復職ノ不_レ能_ルナルヲ以テ説キ重々其旨
 右_レ及_レ申下_一通_一報_レ也

来年度ニ於テハ経費ノ節約事業ノ進展等ニ依リ道路費等ニ於テ備員定員ノ概少ヲ主トシ其他各
 種事業率増進ヲ圖ル必要アリト認め先着者及後面白カラサル者約四割ノ解雇ヲ要スルニ
 至レリ而シテ本年度末迄ノ給料残額ヲ以テ特別手当ノ支給ニ充ルルカ否十一月二十四日ニテ大行シ
 午前十時頃迄ニ之々全部ノ通達ヲ了セリ今更ニ解雇ニ付スル解雇及給與標準ノ豫算カ許
 ス範圍ト対象及トニ種々別紙ノ通りニテ定メタリ

- 一 増給額ハ左ノ標準ニ依ル

| | |
|-----------|------|
| 日給二月三十銭以上 | 二十四銭 |
| 同 一月七十銭以上 | 十七銭 |
| 同 一月七十銭未満 | 十銭 |
- 二 本年十二月定期ニ増給シタルモノハ其ノ増給額ト前項該當額トノ差額ヲ増給ス但本文ノ
 定期増給額カ前項該當額ニ比シ多キトキハ増給モス 殊高ニ依リ給与ノ受ルル額大ニアリテハ上
 長ノ認定スル額ヲ以テ日給額ト見做ス
- 三 特別手当ノ給與額ハ左ノ標準ニ依ル
- 四 勤続年数三年迄ハ日給額六十日分トシ一年ヲ増ス毎日給額十日分ヲ加算ス
- 五 勤続年数ノ計算ニ就キテハ一年未満ノ満數ハ三才切捨シ
- 六 給與金ノ計算ニ就キテハ團位未満ノ満數ハ三才切捨ニ切上ク
- 七 特別手当給與方法